

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
学校園の活性化と確かな学力の育成
総合的視点に立つ教育の推進、人間尊重に徹した人権教育の実践、
信頼に応える学校園経営、学校園・家庭・地域の協働

ものづくり体験教室

「ものづくり教育支援事業」は、学校教育推進室が経済部モノづくり支援室・東大阪地域活性化支援機構(NPO 東大阪)に委託し、「次世代を担う子どもたちに『ものづくり』の啓発を推進する」ことを目的とするものです。

平成 14 年度よりキャリア教育の一環として、地域の民間企業から講師を招き、希望小学校を対象に「ものづくり体験教室」を実施しています。今年度は新たに「グッズ工作」講座が加わり、10 講座の開設となり、41 校より 8,687 人の応募がありました。

今年度行われている「ものづくり体験教室」の一部を紹介します。



東大阪地域活性化支援機構(NPO 東大阪)の方には、毎回、授業のはじめに東大阪の「ものづくり」についてお話をさせて頂いています。(「まいど1号打ち上げ」の話など)

今年度の実施講座 <全 10 講座>		
紙すき	ワイヤーアート	ひな人形工作
紙袋製作	めっき・ダーツ	グッズ工作(新)
電気・光	磁石	ねじ
		エコ製品

< エコ製品 >の講座・・・縄手東小学校

(株)アドバンスの方を講師にお迎えしました。



まず、子どもたちは、環境にやさしいエコ洗剤について学びました。その後、自分たちで溶液・粉末を測量し、実際に手洗い用・洗顔用のエコ洗剤を作りました。



< グッズ工作 >の講座・・・縄手小学校

(株)美販の方を講師にお迎えしました。

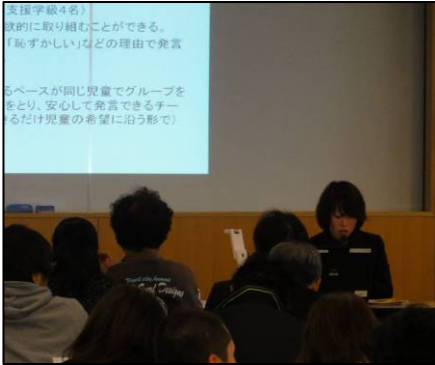


講座のはじめに、作成の注意事項、基本的な作成法・コツなどの説明があり、その後一緒にタワー型の貯金箱を作りました。

子どもたちは真剣なまなざしで作品を完成させていました。



中河内地区三市（東大阪市・八尾市・柏原市）より 100名を超える教職員が集いました！



12月21日（金）中河内地区三市合同の授業改革実践交流会「指導方法の工夫改善（少人数指導）部会」が八尾市役所内大会議室で開催されました。毎年、習熟度別指導をはじめ、きめ細かな指導に取り組んでいる学校の実践を広く交流し、授業改革の一層の推進と充実を図るために、三市合同で行っているものです。

前半は、各市代表校の実践報告と研究討議。

本市からは、弥刀小学校より算数の授業における習熟度別少人数授業の指導方法や授業の進め方、実際の指導例など具体的な取り組み内容の報告がありました。教職員の連携や一人ひとりの児童を意識したきめ細かな支援と評価、保護者への情報提供による家庭とのつ

ながりの大切さが実感できるものでした。大阪府教育センター指導主事による指導助言の中でも「こうした実践が大阪府のめざす授業に通じるものである」と評価されました。

後半は、三市の教職員が5・6人のグループに分かれ、各学校での日頃の実践から気付いたことや悩んでいることなどを出し合うワークショップ「ワールドカフェ」。

各グループが「自校の課題と指導方法の工夫改善」をテーマに、少人数指導の実践とそこから見てきた課題について話し合いました。その後、各グループのメンバーは他のグループのメンバーと交流し、再度、元のグループに戻って、交流で得た情報を交換しました。約20分の短い時間でしたが、「子どもが自ら考え方を表すためのノート指導の工夫」や「子どもの理解に応じた教材や指導方法」など、様々な意見を出し合うことで、授業改善のヒントや新たな気付きを得ることができ、参加した教職員がより効果的な指導について様々な視点で考える良い機会となりました。



感染性胃腸炎に注意！



この冬、ノロウイルスが流行しており、市内学校園におきましても感染性胃腸炎による学級閉鎖が報告されています。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、一年を通じて発生していますが、ピークは冬場です。例年11月くらいから増え始め、12月から3月に集中して発生する傾向があります。また、これからはインフルエンザ流行のシーズンでもありますので、あわせて注意が必要です。

感染経路

人から人（感染者のおう吐物・糞便）
ノロウイルスに汚染された食品や飲料水、器具
二枚貝類の生食

潜伏期間・症状

潜伏期間：通常1～2日
症状：下痢・おう吐・吐き気・腹痛・（発熱）などで、通常1～3日症状が続いた後、回復

感染性胃腸炎にかかったら

- ・ウイルスを原因とする感染性胃腸炎に対して、特別な治療法はなし。治療は輸液、整腸剤などの対症療法。症状が続く期間は比較的短期間なので、脱水を防ぐために、水分補給や安静が必要。
- ・乳幼児や高齢者などの抵抗力の弱い方が感染すると重症になることがあるので、早めの医療機関受診を。
- ・止しゃ薬（いわゆる下痢止め薬）を使用すると、病気の回復を遅らせることがあるので、使用については医師に相談を。
- ・二次感染を防ぐため、症状がある間の入浴は、シャワーのみにするか、最後に浴槽に入るように。
- ・症状が消えてからも便にウイルスが排出（感染してから1週間程度）されるので、手洗いをしっかりと。

感染予防のポイント

手洗い

食中毒の予防

おう吐物、便の適切な処理

（参考）東大阪保健所HP（ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒に注意）：<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002011.html>